

第5回市民のリスク意識調査 資料編

2010年8月26日
株式会社三菱総合研究所

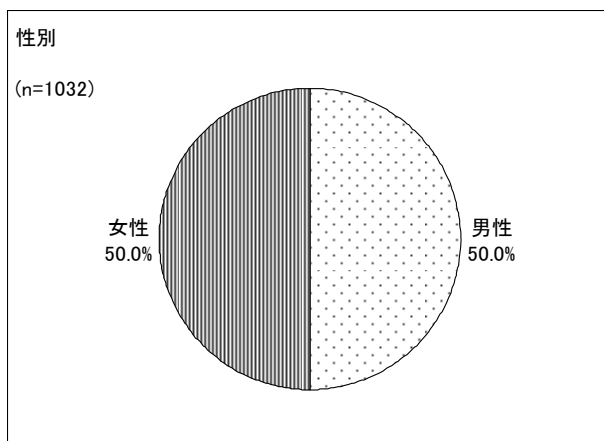
1. 調査概要

- (1) 調査方法：非公開型インターネットアンケート（株式会社マクロミル）
- (2) 調査対象：インターネット調査モニター（日本在住の20歳以上の男女）
- (3) 調査期間：2010年07月29日（木曜日）～2010年07月30日（金曜日）
- (4) 有効回答者数：1,032名（男性516名 女性516名）

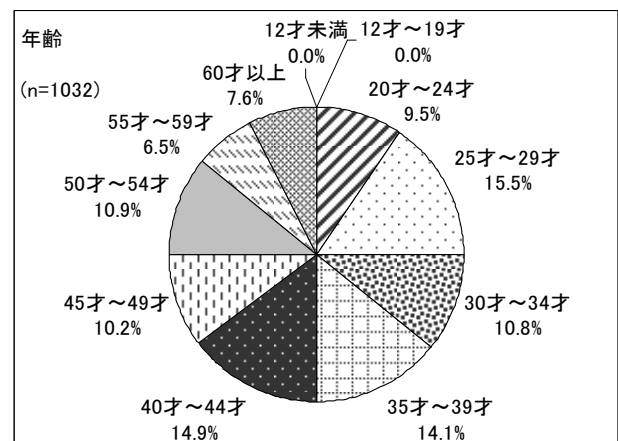
2. 回答者の属性

回答者の属性は現在の日本の人口構成に近いサンプルとなるよう配慮しました。

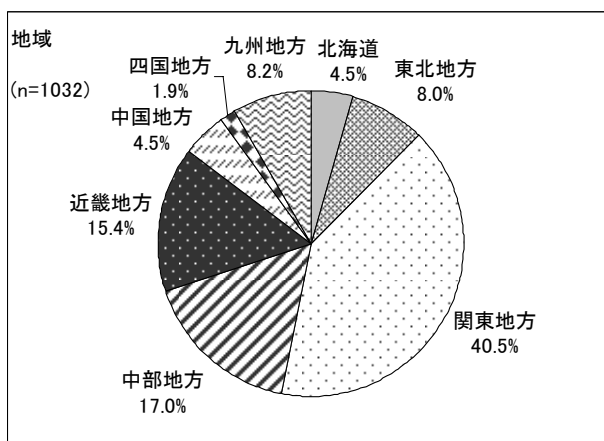
(1) 性別



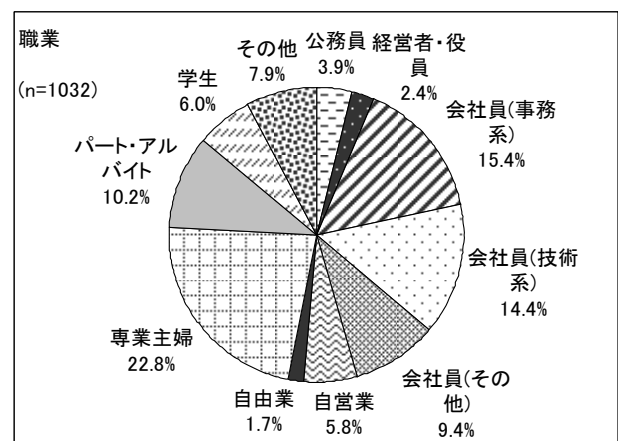
(2) 年齢構成



(3) 地域



(4) 職業

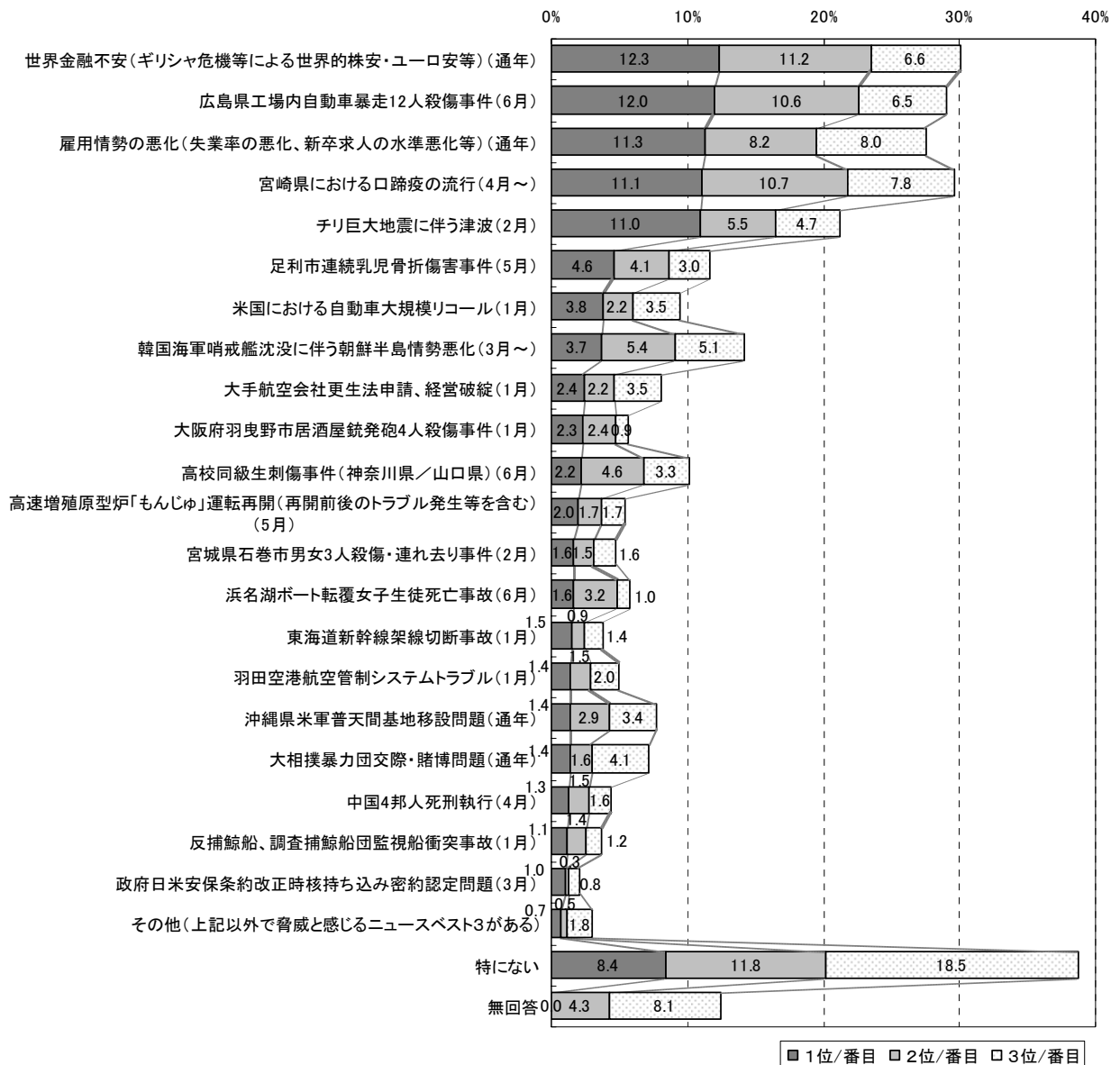


3. 調査結果

(1) 2010年1～6月「最も怖いと感じたニュース」

2010年の上半期（6月末まで）の「最も怖いと感じたニュース」について、設問で挙げた21のニュースのうち『世界金融不安』(12.3%) が一番怖いと回答した人が最も多く、次いで『広島県工場内自動車暴走12人殺傷事件』(12.0%)、3番目に『雇用情勢の悪化』(11.3%) という結果となりました。

ただし、『特にない』の回答者割合が過去の調査結果と比較してかなり高く、2010年の上半期は突出して「怖いと感じたニュース」は例年と比べて少なかったと考えられます。



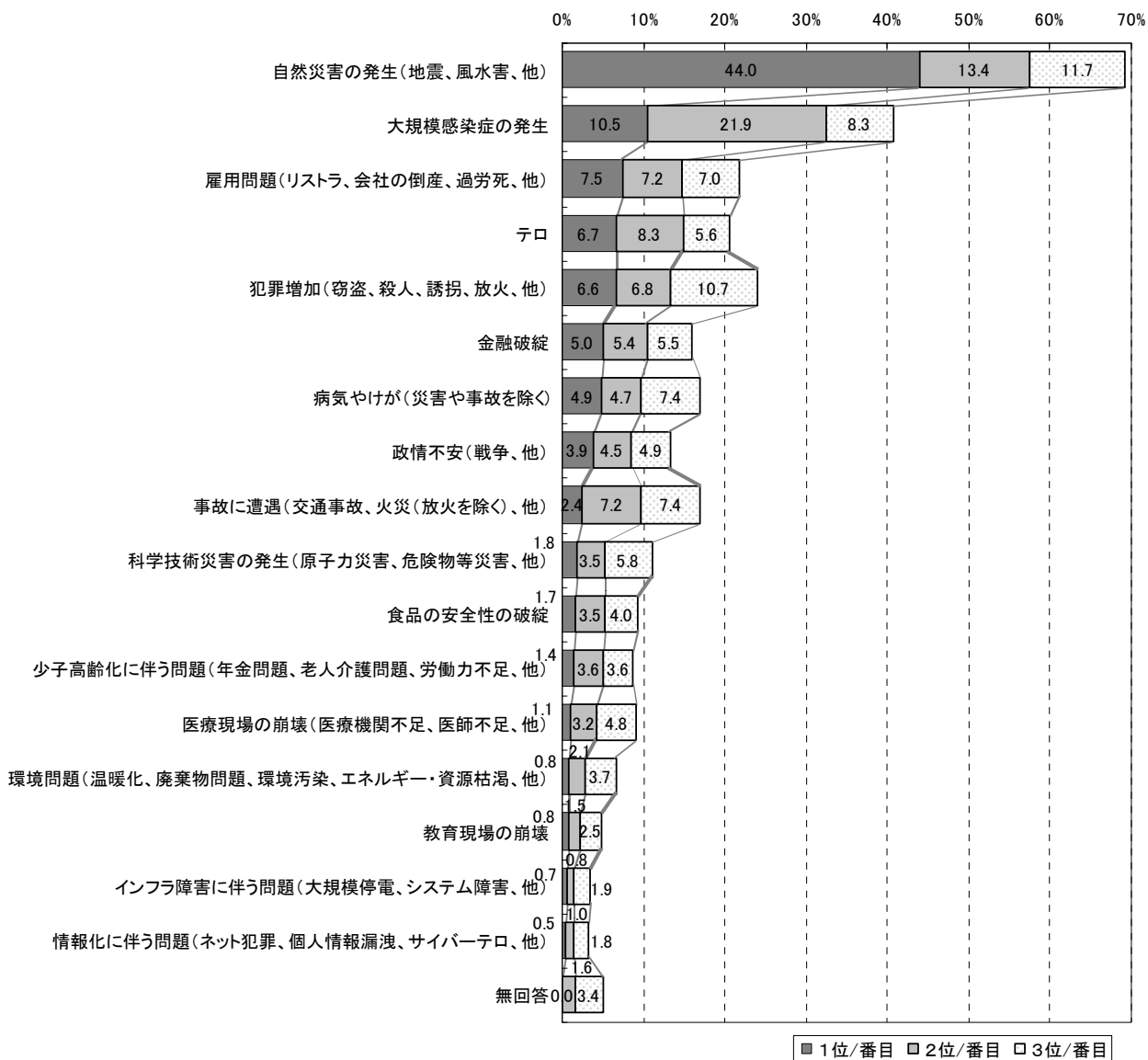
設問：上記の2010年1月から6月までの半年間に発生した出来事のうち、あなたの生活の安全性を脅かした（怖いと感じた）ニュースについて、「最も怖いと感じたもの」から「3番目に怖いと感じたもの」まで順番をつけて3つ選択してください。

(2) 市民個人が脅威と感じるリスク

市民が最も脅威と感じるリスクは『自然災害の発生』であり（44.0%）、第4回調査（2009年12月）の結果（34.2%）から9.8%も増加しました。

ゲリラ豪雨などの気候変動に伴う極端現象の増加などが『自然災害の発生』に関する危機意識の高まりに寄与した可能性があります。

一方、調査結果（1）2010年1～6月「最も怖いと感じたニュース」において自然災害の回答トップである『チリ巨大地震に伴う津波』が5位（11.0%）に留まっていることから推察すると、『自然災害の発生』の実績に基づいて増加したのではなく、他のリスクの数値が低下したため、相対的に上昇したという可能性もあります。

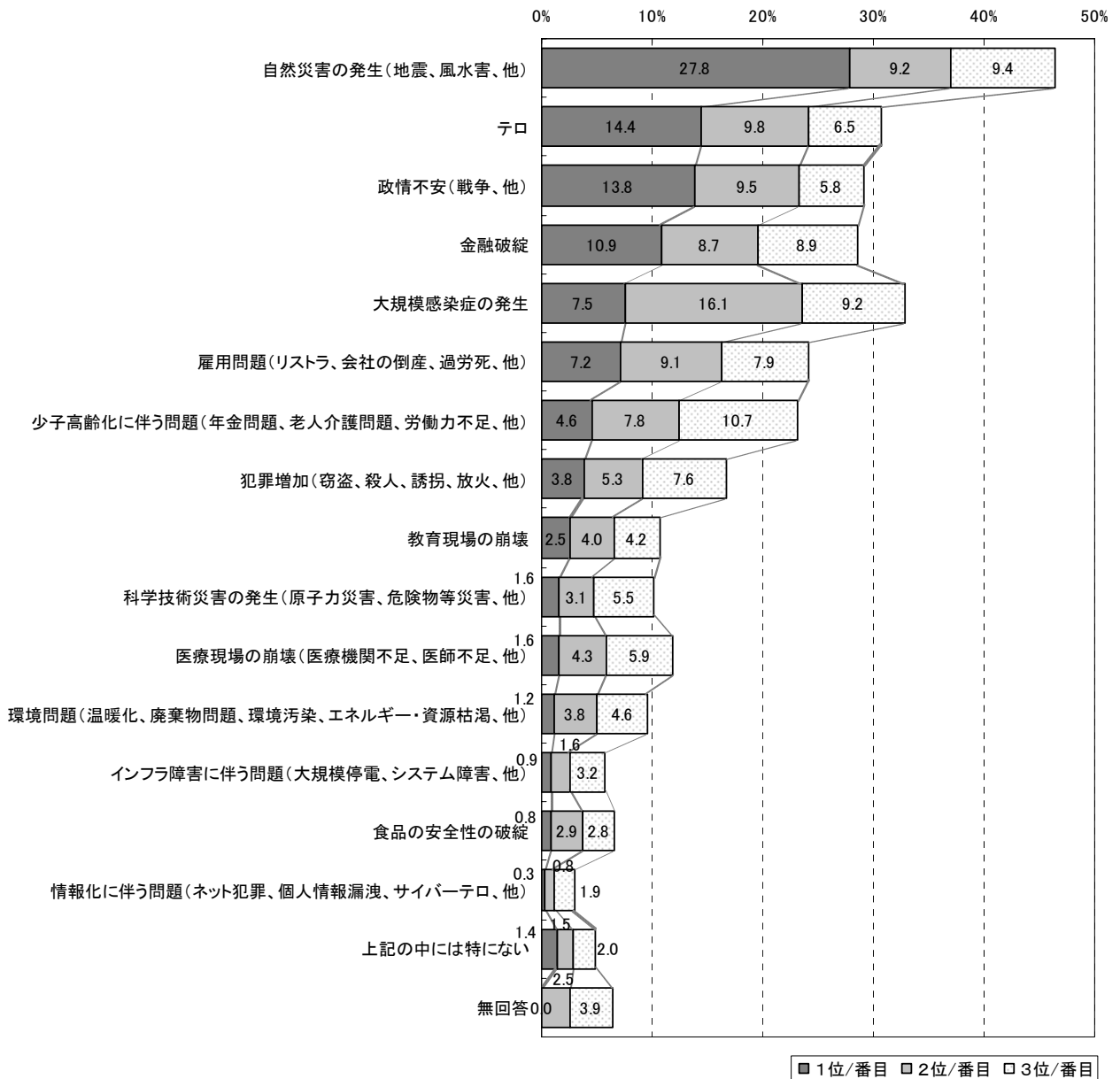


設問：上記のような「災害や様々な危機」について、あなた個人として「最も脅威を感じるもの」から「3番目に脅威を感じるもの」まで順番をつけた上で、最大3つ選択してください。

(3) 国家としての脅威

「(3) 市民個人が脅威と感ずるリスク」と同様に、国家（日本）として最も脅威と感ずるリスクは『自然災害の発生』でした（27.8%）。この結果は、2009年12月の調査結果（16.8%）から11.0%も高くなっています。一方で『政情不安』（13.8%）は、2009年12月の調査結果（18.6%、第1位）から5.2%低下し、第3位となっています。

『テロ』については2009年12月の15.0%から14.4%に、『大規模感染症の発生』は7.7%から7.5%に、それぞれ微減しています。

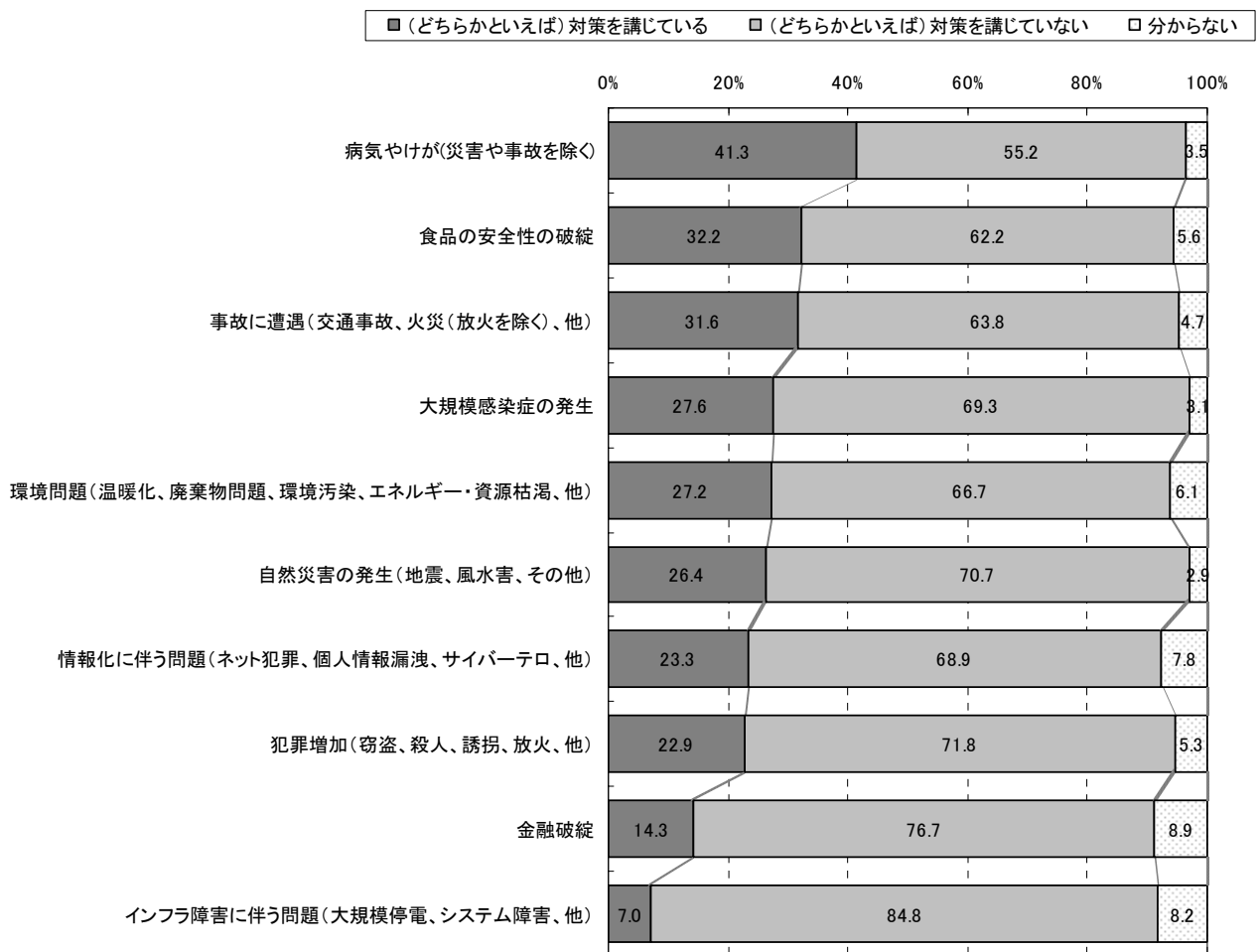


設問：上記のような「災害や様々な危機」について、国家（日本）として「最も脅威に感じるもの」から「3番目に脅威に感じるもの」まで順番をつけた上で、最大3つ選択してください。

(4) 個人の対策実施状況

様々な脅威に対して、個人がどのような対策を実施しているかを尋ねたところ、病気やけが、食品、事故など、自らの身を守るためにできることが多いリスクについて対策を講じている傾向が確認されました。『大規模感染症の発生』については、第1回調査（2008年8月）の結果（12.5%）から第3回調査で倍増しました（26.9%）が、今回の調査でも減少しておらず（27.6%）、対策を実施する意識がある程度定着していると考えられます。

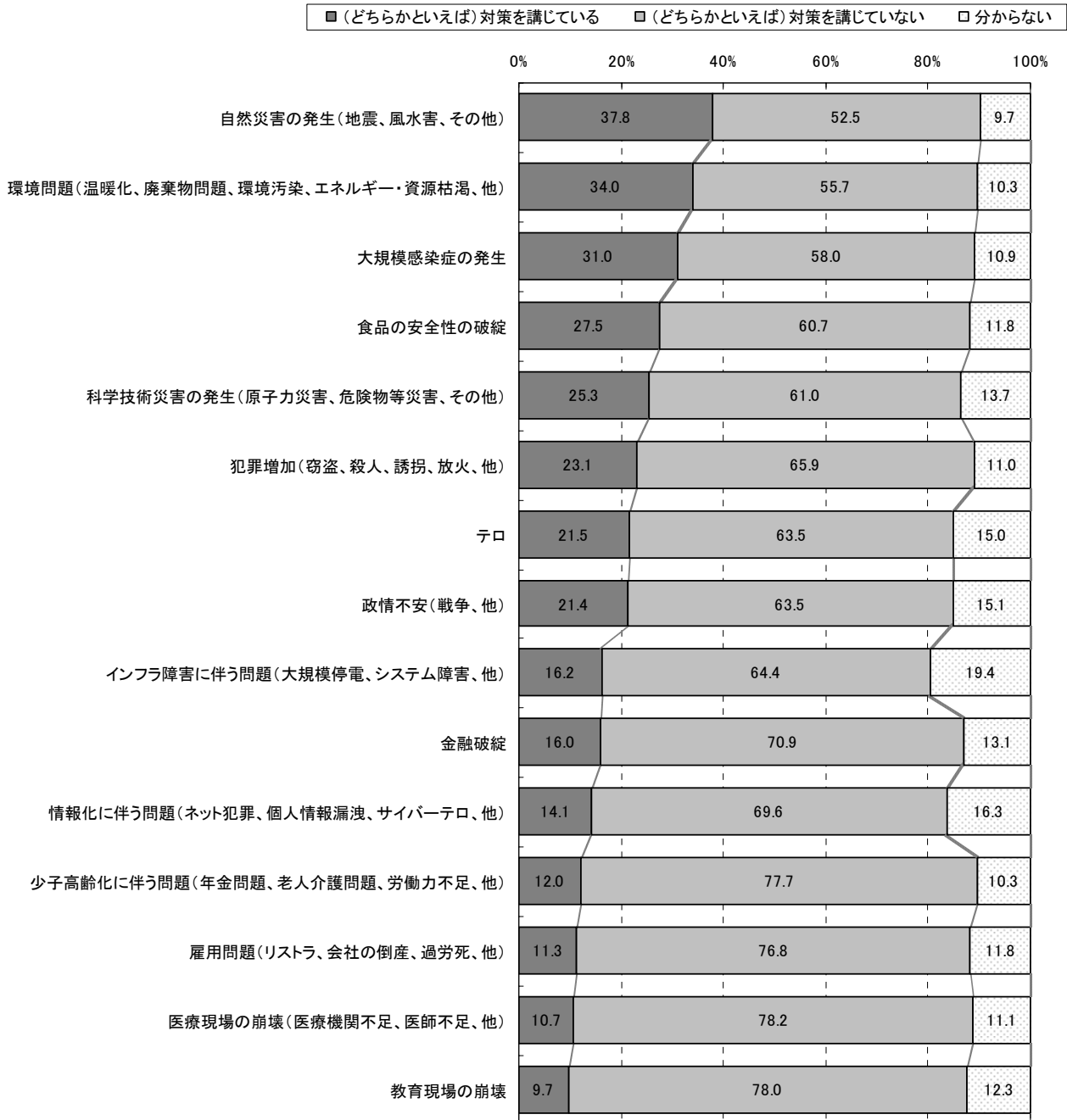
全体としては、最も多くの人々が対策を講じている『病気やけが』においても41.3%に留まっており、個人による対策実施には課題や限界があると考えられます。



設問：脅威に対する日頃からの備え（平常時の対策・準備）としてあなた自身は、対策を講じていると思いますか。上記に示す脅威のそれぞれについて、「(どちらかといえば) 対策を講じている」「(どちらかといえば) 対策を講じていない」「分からない」から選択してください。

(5) 行政の対策実施状況

行政の平常時の対策・準備について、『(どちらかといえば) 対策を講じている』と考える人は第3回調査(2009年6月)と比較した場合、全般的に減少しています。例えば『自然災害の発生』では49.9%から37.8%に、『大規模感染症の発生』については44.0%から31.0%へと減少しており、昨年に比べて行政による対策があまり実感されていないといえます。

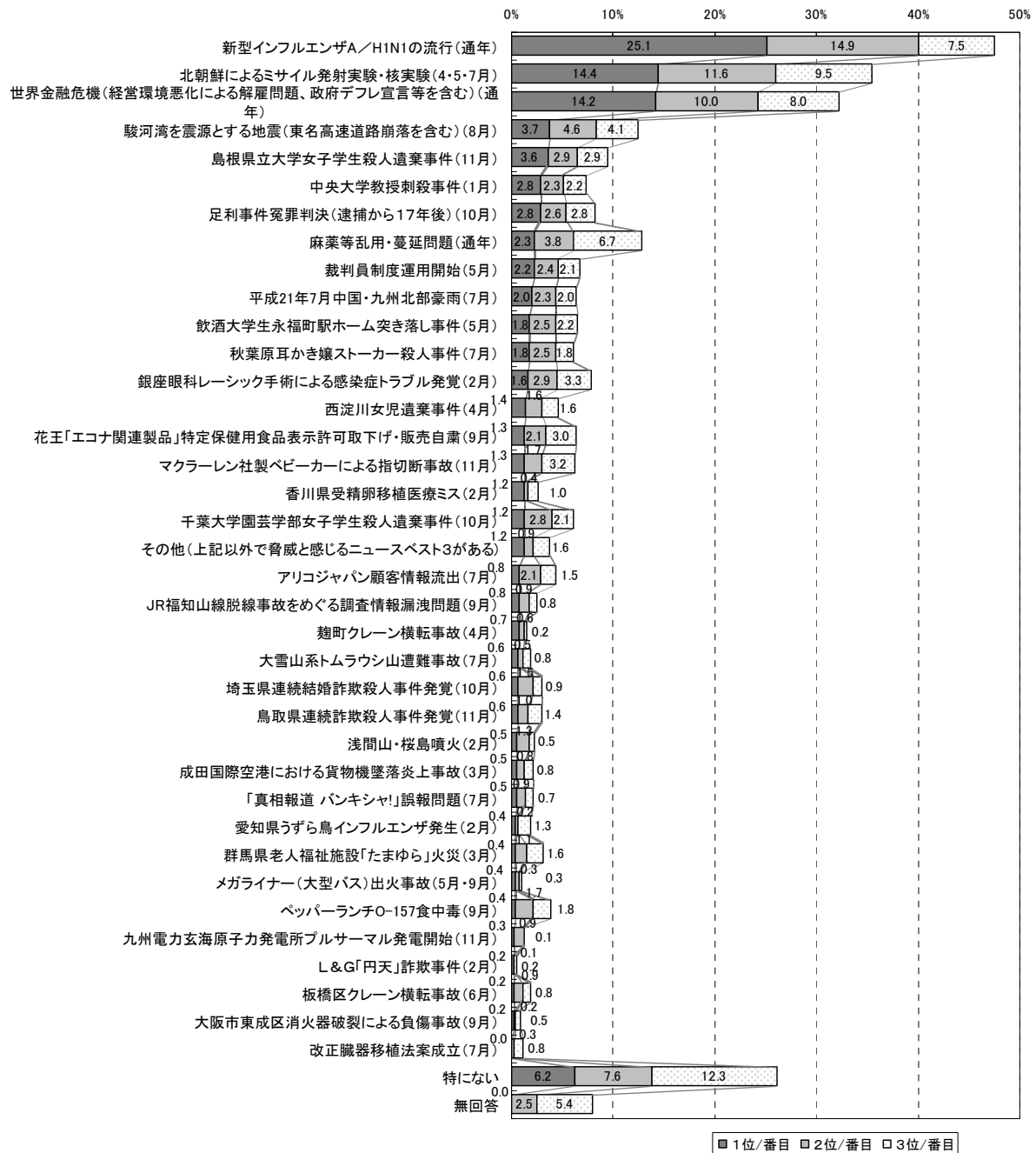


設問：脅威に対する日頃からの備え(平常時の対策・準備)として国や自治体は、対策を講じていると思いますか。上記に示す脅威全てについて、「(どちらかといえば) 対策を講じている」「(どちらかといえば) 対策を講じていない」「分からない」から選択してください。

(参考) 2009年1~12月「最も怖いと感じたニュース」

2009年の1年間で「最も怖いと感じたニュース」について、第4回調査(2009年12月)と同様の設問にて今回あらためて調査しました。

今回、設問で挙げた37のニュースのうち『新型インフルエンザA/H1N1の流行』(25.1%)と回答した人が最も多く、次いで『北朝鮮によるミサイル発射実験・核実験』(14.4%)、3番目に『世界金融不安』(14.2%)という結果となりました。



設問：上記の2009年の1年間に発生した出来事のうち、あなたの生活の安全性を脅かした(怖いと感じた)ニュースについて、「最も怖いと感じたもの」から「3番目に怖いと感じたもの」まで順番をつけて3つ選択してください。

以上